

沿革

会社の歴史

1900

1890(明治23) 創業者田口謙吉が大阪北浜に田口参天堂を開業

1925(大正14) 参天堂株式会社を設立

1935(昭和10) 大阪市東淀川区に淀川工場を開設

1945(昭和20) 本社を淀川工場の敷地(現本社所在地)に移転
社名を参天堂製薬株式会社に変更

1950

1958(昭和33) 社名を現在の参天製薬株式会社に変更
医療用医薬品事業に進出

1977(昭和52) 東京・大阪証券取引所第1部に上場
容器成型と薬液充填を同時に行う「ボトルパック」
製造システムを導入

1982(昭和57) 中央研究所が竣工
1985(昭和60) 能登工場が竣工

1990(平成2) 創業100周年をむかえ長期ビジョンを策定

1993(平成5) 米国にサンテン・インクを設立
1994(平成6) ドイツにサンテン・ゲーエムベーハーを設立
1995(平成7) 北京事務所を開設
1996(平成8) 奈良研究開発センター、滋賀工場が竣工
1997(平成9) フィンランドの眼科薬企業スター社を買収し、
サンテン・オイを設立

1998(平成10) 台湾参天製薬股份有限公司を設立
中期構想「ひとみ21」を策定

2000

2000(平成12) 韓国参天製薬株式会社を設立
広州事務所を開設

2001(平成13) 米国のアドバンスド・ビジョン・サイエンス・インクを買収

2002(平成14) 患者さんの視点で開発した革新的な医療用点眼剤容器
「ディンプルボトル」を導入

2003(平成15) 2003-2005 中期経営計画を策定
能登工場でISO14001を取得
医薬情報活動支援システム「SAIN(サイン)」を構築

2004(平成16) 米国でジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケア・インク
による医療用眼科薬の提携販売を開始

2005(平成17) 上海事務所を開設
参天製薬(中国)有限公司を設立

2006(平成18) 2006-2010年度中期経営計画を策定

製品の歴史

創業当時 主力製品は風邪薬「ヘブリン丸」

1900

1899(明治32) 「大学目薬」

1950

1952(昭和27) 「大学ベニシリン目薬」
1953(昭和28) 「大学マイシリン目薬」
1954(昭和29) 「大学スーパー目薬」
1956(昭和31) 「サンテドウ」

1962(昭和37) 散瞳点眼剤「ミドリnP」
国内初のプラスチック容器目薬「スーパーサンテ」
1963(昭和38) 自社開発の肝治療解毒剤「チオラ」

1970(昭和45) 抗生物質製剤「エコリシン点眼液」
1975(昭和50) 抗炎症点眼剤「フルメトロン」

1978(昭和53) 医療用具の販売開始

1981(昭和56) 緑内障・高眼圧症治療剤「チモプトール」

1985(昭和60) 「サンテ40NE」
1986(昭和61) 眼内レンズの販売開始
1987(昭和62) 合成抗菌点眼剤「タリビット点眼液」
抗リウマチ剤「リマチル」

1991(平成3) 「サンテFX」
1992(平成4) 眼灌流・洗浄液「ビーエスエスプラス」
初期老人性白内障治療剤「カリーユニ」

1995(平成7) 角膜上皮障害治療剤「ヒアレイン」
抗アレルギー剤「アレキサール点眼液」
抗リウマチ剤「アザルフィジンEN錠」
眼科手術補助剤「オベガンハイ」

1999(平成11) 緑内障・高眼圧症治療剤「チモプトールXE」
「サンテFXネオ」

2000

2000(平成12) 合成抗菌点眼剤「クラビット点眼液」

2001(平成13) 緑内障・高眼圧症治療剤「テタントール点眼液」
抗アレルギー剤「リボスチン点眼液」

2002(平成14) 「サンテドウプラスEアルファ」
「サンテ40」

2003(平成15) フォールダブル(折りたたみ式)眼内レンズ
「クラリフレックス」

2004(平成16) 緑内障・高眼圧症治療剤「レスキュラ点眼液」
抗リウマチ剤「メトレート錠」

2006(平成18) 春季カタル治療剤「パピロックミニ点眼液」

※当社での販売開始の年を基準に記載